# エコアクション21
# 環境経営レポート

第１3版　　2022年版

取組期間　2022年1月1日～12月31日

発行日　　2023年9月30日

## 苓陽工業株式会社

Since
1978

Reiyo

# 目　次


1 会社概要・沿革

2 事業案内

3 環境経営方針

4 組織図

5 これまでの負荷実績

6 今年度の目標と実績・次年度の目標・環境効率性

7 環境活動内容と評価

8 次年度の環境活動計画

9 防災訓練・社会貢献活動

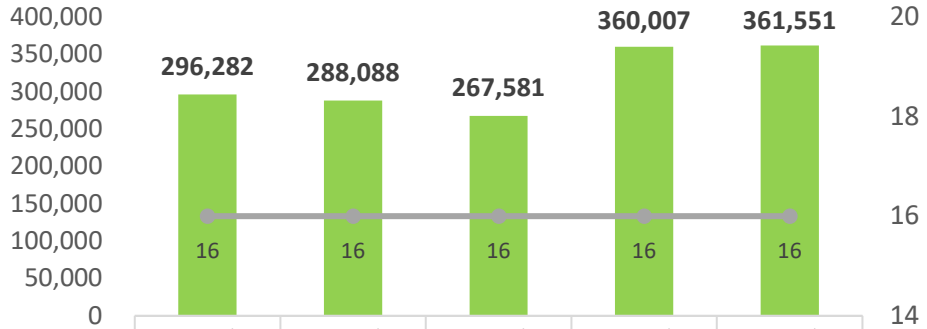
10 保有車両

11 ①EA21全体会議
②環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

12 代表者による全体評価と見直しの結果

## 会社概要

| | |
|---|---|
| 事業所名 | 苓陽工業株式会社 |
| 代表者 | 代表取締役社長　毛利尚之 |
| 所在地 | 〒863-0003<br>熊本県天草市本渡町本渡4475-1 |
| 創業 | 1978年（昭和53年）3月14日 |
| 連絡先 | TEL:0969-23-5455 ／ FAX:0969-23-5457<br>info@reiyo.co.jp |
| 環境管理責任者 | 総務経理部　宮本瞳 |
| 環境事務局 | 総務経理部　鯖江一久<br>宮本瞳 |
| 環境活動期間 | 2022年1月～2022年12月 |
| 事業内容 | 土木工事業、舗装工事業、とび・土工工事業<br>特定建設業　熊本県知事　許可（特-1）第006647号 |
| 資本金 | 3,000万円 |
| 敷地面積 | 5000㎡ |
| 事業規模 | |




| | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|---|---|---|---|---|---|
| 売上高（千円） | 296,282 | 288,088 | 267,581 | 360,007 | 361,551 |
| 従業員数（人） | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 |

## 沿革

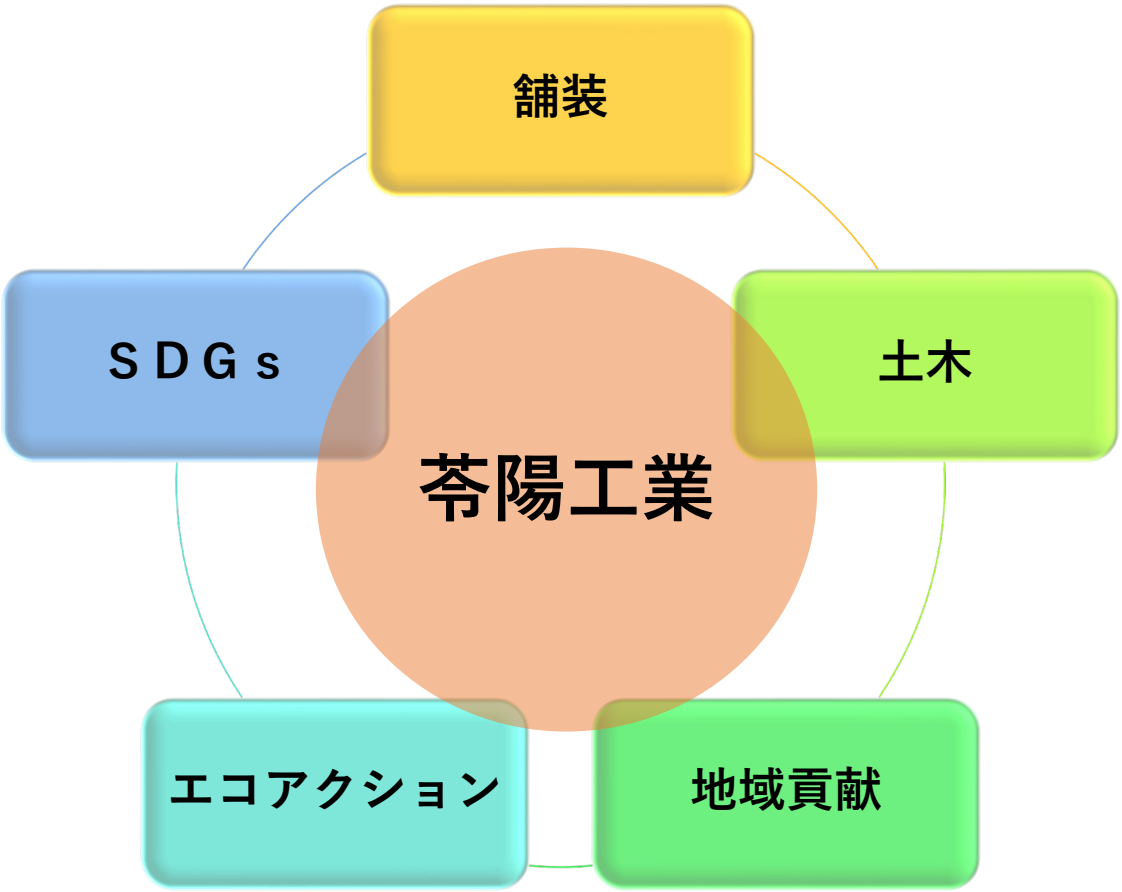
| | |
|---|---|
| 1978年（昭和53年）3月14日 | 苓陽道路有限会社創業　資本金500万円 |
| 1978年（昭和53年）4月21日 | 建設業の許可を受ける |
| 1983年（昭和58年）1月21日 | 苓陽工業有限会社（商号変更） |
| 1986年（昭和61年）10月21日 | 資本金1,000万円に増資 |
| 1993年（平成5年）10月1日 | 苓陽工業株式会社（組織変更） |
| 1997年（平成9年）8月19日 | 資本金3,000万円に増資 |
| 2021年（令和3年）1月3日 | 毛利尚之　代表取締役に就任 |

事業案内

# 舗装工事と土木工事のエキスパート

県道や市道のアスファルト舗装をメインに、技術と経験を持った職人による、保有建設機械を使った豊富な施工実績があります。個人住宅駐車場舗装や宅地造成等にも幅広く対応しています。

冬季には道路交通確保のため、除雪作業も請け負っています。
環境への負荷を軽減しつつ、質の高い環境保全のための工事を心がけ、あらゆる要望に応える仕事を確かな技術力で実現します。



# 舗装

## 「道づくり」は苓陽工業の原点

創業当初から
もっとも大きな柱と位置付けている事業です。
信頼を積み重ねて42年。道路とともに歩んできました。
常に「高品質な施工」を意識して作業に取り組む技術力には
絶対の自信があります。
人々の想いが込められた未来への道は苓陽工業がつくります。
安心で安全な新しい世界を目指して進化し続けます。

# 土木

## 美しい環境づくり

道路改良、駐車場整備、宅地造成、
地盤改良、基盤整備、伐採掘削など、
快適な生活と心地よい空間を提供する
ため地道に努力しています。

派手な仕事ではないですが、
人々の足元を支えるという
社会で一番大切なことを担っています。

# 地域貢献活動

## 地域に根差した会社へ

清掃、除草、カーブミラー磨き、小学校のグラウンド整地、
ごみ収集庫寄贈など行なっています。
車も人も安全に通行できるようにすることで、交通事故防止に
繋がっています。
地元住民の方が少しでも暮らしやすい街にするために、
これからも活動を続けていきます。

# エコアクション

## 環境への取組

環境省が策定した日本独自の環境マネジメント
システム（EMS）。
一般に「PDCAサイクル」と呼ばれるパフォー
マンスを継続的に改善する手法を基礎として、
組織や事業者等が環境への取り組みを自主的に
行うための方法を定められています。

実施体制の構築、環境への負荷や取組の自己
チェック、環境経営方針の策定、環境経営目標
や計画、実施、活動の評価や見直しを毎年行な
い、地球環境のための活動を続けています。

# SDGs
## 持続可能な開発目標

「誰一人取り残さない（leave no one behind）」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標。

私たちの人生は小さな選択や決断の連続でつくられています。小さなひとつひとつのその先にある、少しでも明るい未来のために、自分ができること、自分たちができることに最大限の努力を注ぐ。

舗装業を通して、ヒト、生物、モノ、ココロ、地球とそこに生きる限りある命を守るための活動を行なってまいります。

**3 すべての人に健康と福祉を**

- 交通安全教育を行ない交通死亡事故の減少。
- G.W、お盆、年末年始の長期休暇

**4 質の高い教育をみんなに**

- 資格取得や職人技術向上のための必要講習受講費用を会社補助。

**7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに**

- 環境配慮型（ハイブリッド車）を導入。
- 社内の電気をLEDへ順次変更。

**8 働きがいも経済成長も**

- 定年後の再雇用
- 資格・免許取得のサポート

**11 住み続けられるまちづくりを**

- リサイクル型防草対策工法による道路の雑草抑制。
- 廃棄物の削減、適正処理、ごみ分別の徹底。
- 近隣清掃ボランティア

熊本県SDGs登録事業者
第1期取得

熊本県SDGs登録事業者
登　録　証

熊本県SDGs登録事業者として登録し、ここに証します。

登録事業者：苓陽工業株式会社

登　録　期：第1期

登録期間：令和3年(2021年)8月25日から
令和6年(2024年)8月24日まで

令和3年（2021年）8月25日
熊本県知事　蒲島　郁夫

熊本県知事印

熊本県

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

©2010熊本県くまモン

**12 つくる責任 つかう責任**

- 建設工事で発生するコンクリートやアスファルト廃材の再利用。再資源化の強化。
- 安心・安全に直結する道づくり。

# 環境経営方針

**私共、道路屋・苓陽工業株式会社は、人と自然との境界線に道路がある事を認識し、人と自然の共存共栄をはかり、自然とのつながりを大切にした道路の設計施工に努力します。**

1. 当社は、自然環境に配慮した、設計・施工を提案いたします。

2. 当社は、安全でスムーズに走行できる道路設計の提案及び設計施工に努力いたします。

3. 当社は、建設機械の使用による、騒音・排ガス及び振動を減少させます。
また、粉塵等の公害を防ぎ、近隣住民の環境への配慮に努めます。

4. 関連する環境の法規制を遵守するとともに、行政機関・団体・地域等の要請に協力いたします。

5. 土木工事業・舗装工事業・とび・土工事業の事業において環境に与える影響を軽減する為、次の事項に対して優先的に取り組みます。
①二酸化炭素排出量の削減
（設備運転・空調・車両管理等による電気及び燃料使用量の削減）
②事業活動により排出される一般及び産業廃棄物の削減及びリサイクル促進
③節水活動による水使用量の削減

6. グリーン商品の購入に努め、循環県社会の実現に貢献いたします。

7. 環境保全に関する啓蒙・啓発と地域での社会貢献に努めます。

8. 自然エネルギーの有効活用に努めます。

9. 化学物質は適正に管理します。

10. 当社員は環境意識を高め、日常に環境を意識し、肩の力を抜いて出来る限りの努力をいたします。

11. 環境経営の継続的改善を誓約します。

12. SDGsを支持し、取り組みを推進します。

この方針は当社全従業員に周知徹底するとともに一般に開示いたします

制定日　2011年12月1日
改正日　2021年1月4日

苓陽工業株式会社
代表取締役　毛利尚之

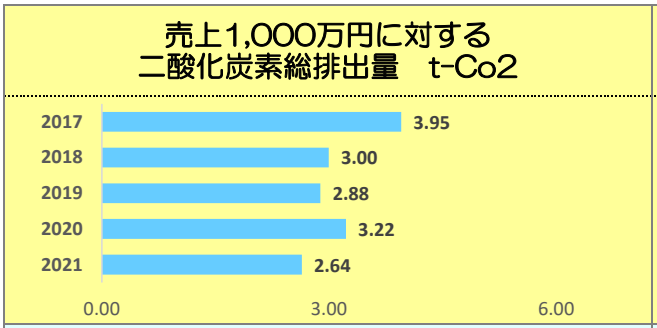
# 組織図

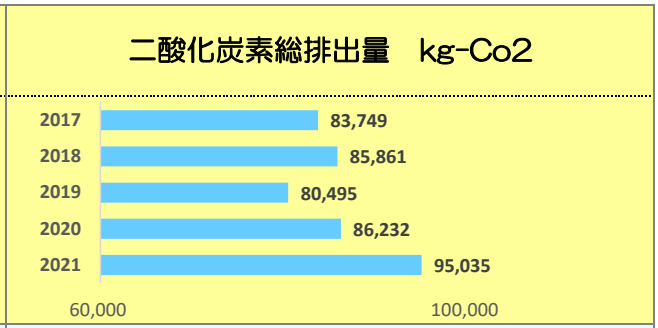
2021年1月3日現在

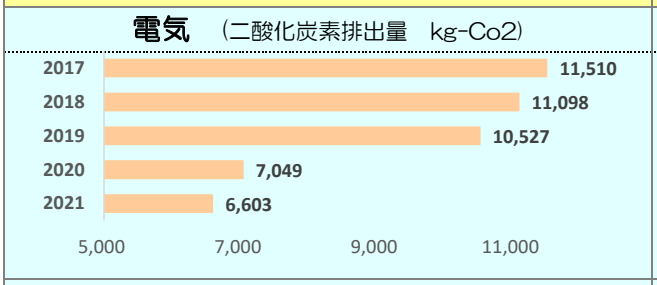
| | | |
|---|---|---|
| 代表者 | 毛利尚之 | EA21責任者の任命<br>環境方針の策定<br>経営資源の準備<br>代表者による全体の評価と見直し<br>環境経営レポートの承認<br>環境目標及び環境活動計画の承認 |
| EA21責任者 | 宮本瞳 | EA21システムの確立、実施推進、維持管理<br>環境への負荷および取組への自己チェックの実施<br>環境目標および環境活動計画の策定<br>EA21に関する実績把握と報告<br>EA21環境経営マニュアルの作成 |
| EA21委員会 | 鯖江一久<br>宮本瞳 | 環境活動計画の結果確認<br>各部門からの結果報告に基づいて改善策を検討<br>活動手順の周知・徹底<br>次年度の目標設定<br>毎年1・7月に委員会を開催する |
| EA21事務局 | 鯖江一久<br>宮本瞳 | EA21責任者の補佐業務<br>環境関連法規のとりまとめ及び遵守状況確認<br>環境文書及び記録の作成、管理<br>その他のEA21に関する業務<br>教育、訓練計画の策定の実施<br>環境経営レポートの作成<br>PDSAサイクルの状況把握 |
| 事業所部門 | （責任者）<br>松下健一 | 環境目標及び環境活動計画の結果確認<br>活動マニュアルの検討及び見直し<br>担当者からの要望など取りまとめ委員会へ報告<br>エアコン使用を含む電気器具の使用状況<br>一般廃棄物の分別・排出量の削減<br>リサイクル商品購入の推進<br>エコキャップ運動推進<br>水使用状況の確認<br>事務所内の清掃 |
| 工事現場部門 | （責任者）<br>大寺守 | 環境目標及び環境活動計画の結果確認<br>活動マニュアルの検討及び見直し<br>担当者からの要望など取りまとめ委員会へ報告<br>車両・重機の点検修理<br>エコドライブの周知徹底<br>安全かつ効率の良い重機操作の指導<br>倉庫及び敷地内の清掃<br>危険物及び油脂類の保管管理<br>一般廃棄物の分別 |

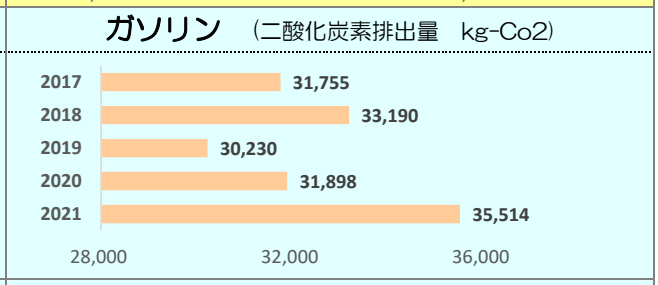
# これまでの負荷実績

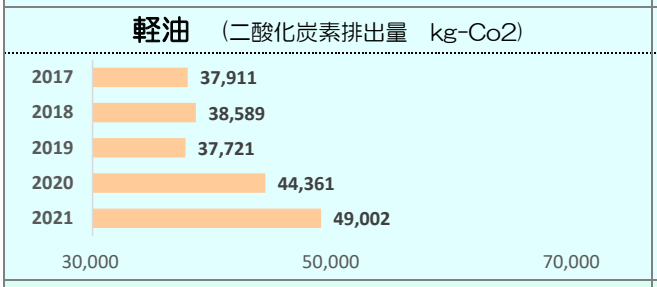
※購入電力の Co2 排出係数は、九州電力の2022度の係数 0.399kg/kwh を用いた。

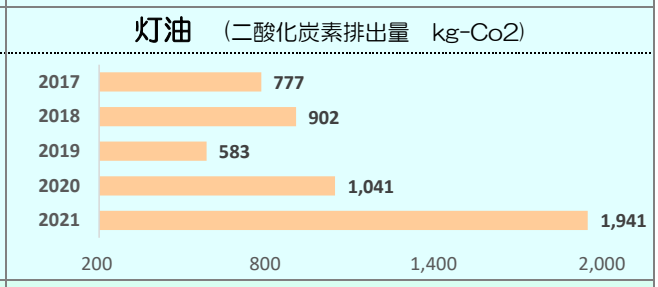


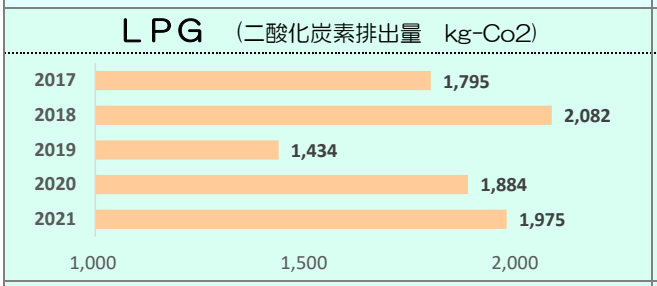



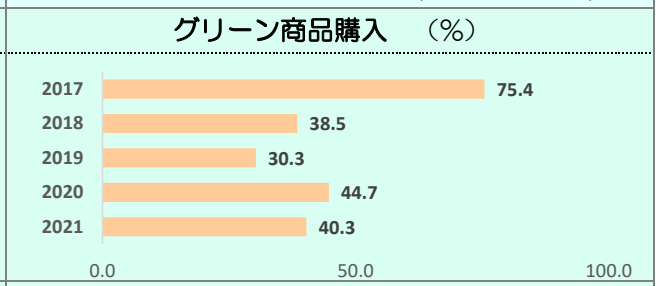



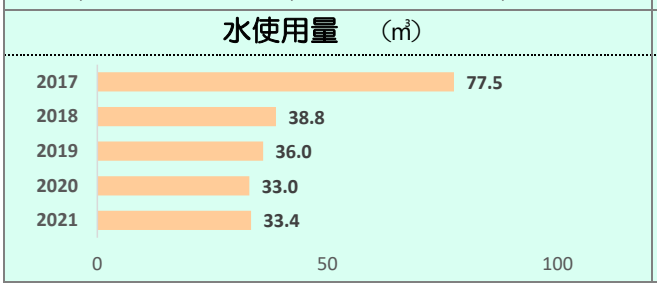



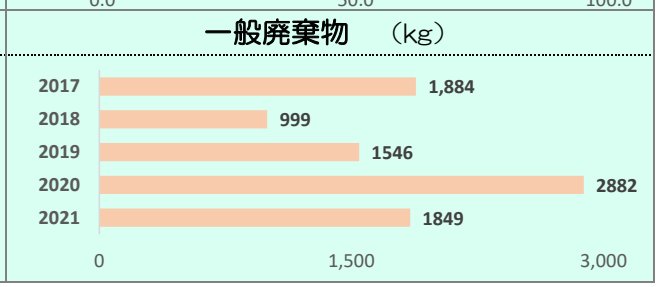



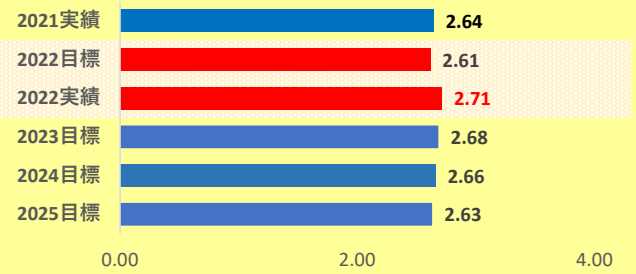

| | 年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育訓練活動 | 回数 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| 奉仕活動 | 回数 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 |
| 緊急時の対応訓練 | 回数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 油脂類及び化学物質の適正な管理 | 回数 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 環境法規等の遵守状況 | 回数 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 苦情及びクレーム等の状況 | 回数 | 無 | 無 | 無 | 無 | 無 |
| 委員会の開催状況 | 回数 | 4 | 4 | 2 | 2 | 2 |
| 建設廃棄物リサイクル | % | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

# 今年度の目標と実績・次年度の目標　環境効率性

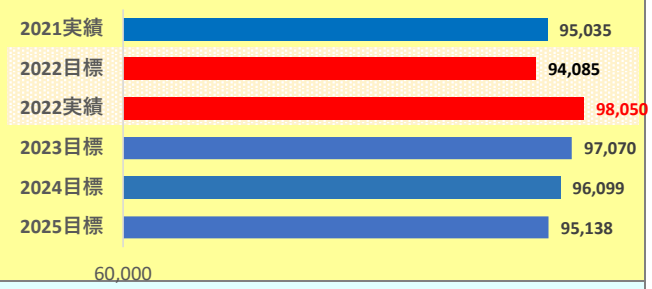
前年度の数値を参考値として1%削減を目標にしている。

※購入電力の Co2 排出係数は、九州電力の2022度の係数 0.399kg/kwh を用いた。

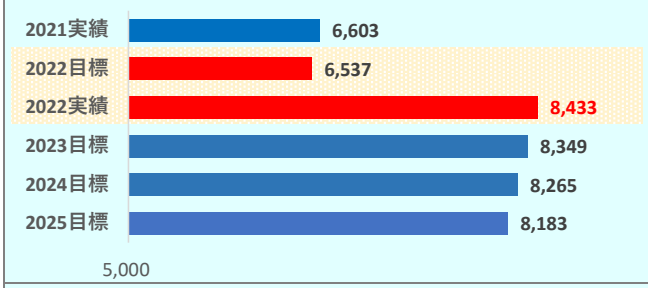
## 売上1,000万円に対する二酸化炭素総排出量　t-Co2



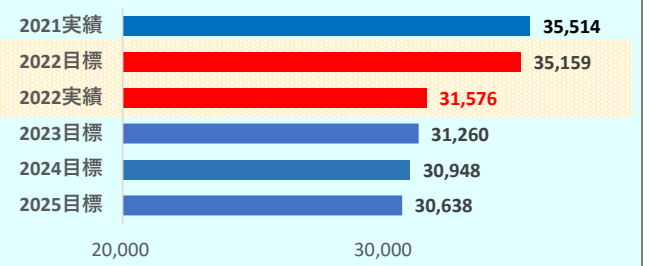

## 二酸化炭素総排出量　kg-Co2



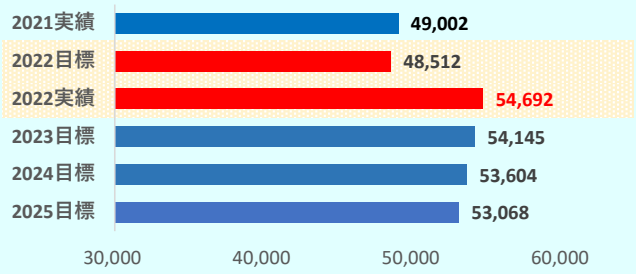

## 電気　(二酸化炭素排出量　kg-Co2)



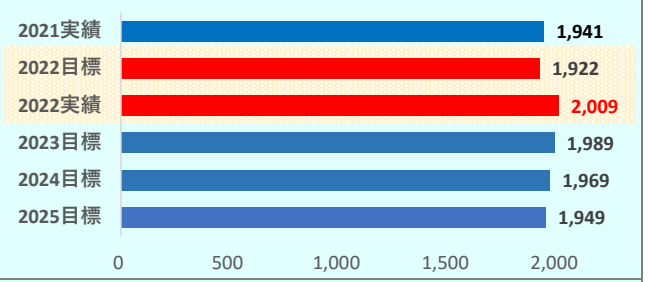

## ガソリン　(二酸化炭素排出量　kg-Co2)



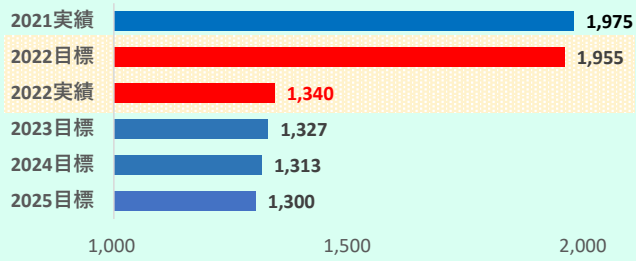

## 軽油　(二酸化炭素排出量　kg-Co2)



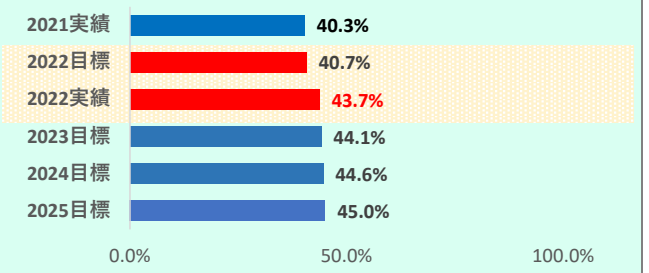

## 灯油　(二酸化炭素排出量　kg-Co2)



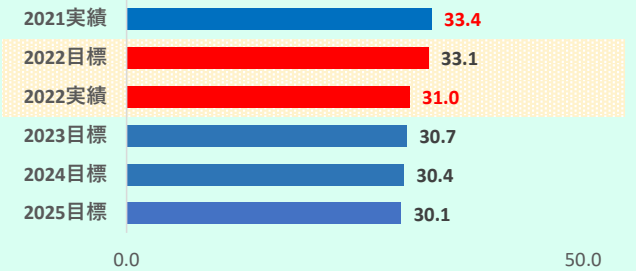

## ＬＰＧ　(二酸化炭素排出量　kg-Co2)



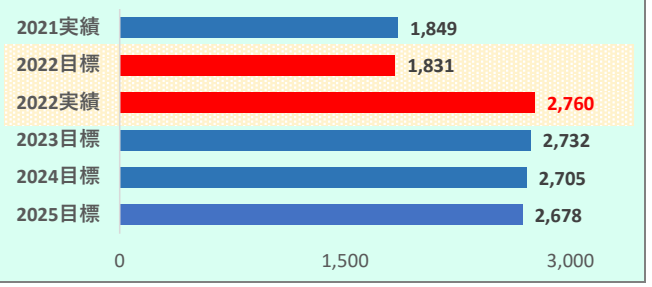

## グリーン商品購入　(%)




## 水使用量　(㎥)




## 一般廃棄物　(kg)



| | 年 | 2021実績 | 2022目標 | 2022実績 | 2023目標 | 2024目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育訓練活動 | 回数 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| 奉仕活動 | 回数 | 24 | 24 | 24 | 24 | 24 |
| 緊急時の対応訓練 | 回数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 油脂類及び化学物質の適正な管理 | 回数 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 環境法規等の遵守状況 | 回数 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 苦情及びクレーム等の状況 | 回数 | 無 | 無 | 無 | 無 | 無 |
| 委員会の開催状況 | 回数 | 4 | 4 | 2 | 2 | 2 |
| 建設廃棄物リサイクル | % | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

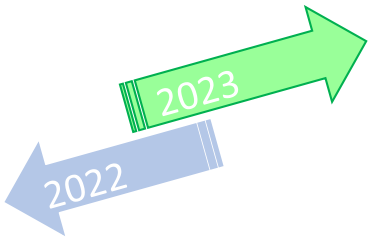
| 分析項目 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| CO2総排出量 kg-co2 | 85,862 | 80,495 | 86,232 | 95,035 | 98,050 |
| 完成工事高　百万円 | 296 | 288 | 267 | 360 | 361 |
| 化石燃料：電力　% | 87:13 | 87:13 | 92:8 | 93:7 | 93:7 |
| 九電排出係数 | 0.463 | 0.462 | 0.344 | 0.305 | 0.305 |
| 環境効率性EE値万円/t-co2 | 345 | 358 | 310 | 389 | 369 |

例年より土木工事の増加により機械燃料の使用が増加しました。遠方の現場が多いことも目標達成できない原因の一つです。

工事受注増加＝売上増加のため、売上1,000万円に対する二酸化炭素排出量を社内基準としていますが、燃料をいかに最小限に抑えるかは永遠の課題です。

引き続き環境負荷の低いビジネスモデルへの転換を続けなければなりません。

燃料を多量に使用する重機・車両り扱い、エコドライブの徹底、メンテナンスを怠らないようにしましょう。人の安全も重要なので懸念がある場合は必ず対処しましょう。



# 環境活動内容と評価

前年度の活動結果を踏まえ、次年度の活動項目及び活動手順を設定する。
但し、工事の受注状況等また、工事の内容等によっては、見直す場合もある。

| 活動項目 | 活動手順 | 活動時期 | 評価 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 事業所部門 | 工事部門 |
| 電気使用量の削減 | 昼休み時や使用していない部屋の空調や照明は消す(室内温度　夏季・30度以上　冬期・15度以下の場合のみ使用する) | 日々 | ▲ | ▲ |
| | クールビズ及びウォームビズなどによる冷暖房器具の使用低減 | 6月<br>11月 | ○ | ○ |
| | ＬＥＤ照明の推進 | 日々 | ▲ | ▲ |
| | 照明器具及び空調設備の清掃 | | ▲ | ▲ |
| ガソリン・軽油・灯油の使用量の削減 | 建設機械及び車両の整備点検及び清掃 | 日々、<br>運行前等 | ○ | ○ |
| | 急発進・急加速の禁止 | 日々 | ○ | ○ |
| | アイドリングの禁止 | | ○ | ○ |
| | 乗合せなど、無駄のない使用を心掛ける | | ○ | ○ |
| | 交通法規を遵守し交通安全に努める | | ○ | ○ |
| | 現場の規模や作業内容に応じた建設機械を使用する | 作業時 | | ○ |
| | 作業効率の良い建設機械の操作に心掛ける | | | ○ |
| | 過積載の禁止及び定格出力に合った建設機械の使用を行う | | | ○ |
| 液化ガスの使用量削減 | ふきこぼれ等に注意する | 日々 | ○ | |
| | ガスレンジの清掃 | | ○ | |
| | ガス管の損傷及び劣化状況のチェック | | ○ | |
| | ガスボンベの腐食や劣化の点検 | 作業時 | | ○ |
| | 作業内容に応じたガスバナーの炎の調整 | | | ○ |
| 一般廃棄物排出量の削減 | 分別の徹底 | 日々 | ▲ | |
| | コピー用紙裏面の活用 | | ▲ | |
| | ミスプリントの防止 | | ○ | |
| | ペーパ―レスのため、社内文書のやり取りは電子化する | | ▲ | |
| | 使用済封筒の活用 | | ○ | |
| | リサイクル業者の活用 | その都度 | ○ | |
| グリーン商品の購入 | 事務用品・備品等はなるべくグリーン商品を購入する | 購入時 | ▲ | |
| | 再生材料を使用する | | | ▲ |
| 建設廃棄物の管理及びリサイクル促進 | マニュフェスト伝票の管理 | 発生時 | | ○ |
| | 廃棄物の分別の徹底 | | | ○ |
| | 型枠等の使用済建設資材の再利用促進 | | | ○ |
| 油脂類や化学物質等の管理 | 危険物及び油脂類の適正な保管管理 | 日々 | | ○ |
| 水資源使用量の削減 | 譲許に応じた水も使用方法 | 日々 | ○ | |
| | 水道設備の損傷及び劣化のチェック | 日々 | ○ | ○ |
| 清掃 | 事務所内の清掃 | 日々 | ○ | |
| | 倉庫・敷地内の清掃状況 | 日々 | | ○ |
| 共通事項 | | | | |
| 教育活動 | 年2回の開催を計画しているが、活動結果が著しく悪い場合は、臨時的に招集し再教育を行う | 1月～3月 | ○ | |
| 奉仕活動 | 事務所周辺・現場内及び現場周辺の清掃 | 日々 | ○ | |
| 緊急時の対応訓練 | 火災・油類及び危険物等の流出・けが等を想定した訓練を行う | 1月～12月 | ○ | |
| 環境県連法規等の遵守状況 | 富士グローバルネットワークのＨＰに掲載の環境関係法規チェックリストを参考に当社にあった項目を抽出し日々チェックする | 7月～9月 | ○ | |
| 苦情クレーム等の発生状況及び処理状況 | 苦情・クレーム等の発生時おいて、クレーム処理の結果を検討し改善する | 日々 | ○ | |
| 委員会の開催 | 年2回の開催を計画しているが、活動結果が著しく悪い場合は、臨時的に招集し再教育を行う。PDSAサイクルの状況確認 | 1月・7月 | ○ | |

# 次年度の環境活動計画

前年度の活動結果を踏まえ、次年度の活動項目及び活動手順を設定する。
但し、工事の受注状況等また、工事の内容等によっては、見直す場合もある。

| 活動項目 | 活動手順 | 活動時期 | |
|---|---|---|---|
| | | 事業所部門 | 工事部門 |
| 電気使用量の削減 | 昼休み時や使用していない部屋の空調や照明は消す(室内温度　夏季・30度以上 冬期・15度以下の場合のみ使用する) | 日々 | |
| | クールビズ及びウォームビズなどによる冷暖房器具の使用低減 | 6月・11月 | |
| | ＬＥＤ照明の推進 | 日々 | |
| | 照明器具及び空調設備の清掃 | | |
| ガソリン・軽油・灯油の使用量の削減 | 建設機械及び車両の整備点検及び清掃 | 日々、運行前等 | |
| | 急発進・急加速の禁止 | 日々 | |
| | アイドリングの禁止 | | |
| | 乗合せなど、無駄のない使用を心掛ける | | |
| | 交通法規を遵守し交通安全に努める | | |
| | 現場の規模や作業内容に応じた建設機械を使用する | | 作業時 |
| | 作業効率の良い建設機械の操作に心掛ける | | |
| | 過積載の禁止及び定格出力に合った建設機械の使用を行う | | |
| 液化ガスの使用量削減 | ふきこぼれ等に注意する | 日々 | |
| | ガスレンジの清掃 | | |
| | ガス管の損傷及び劣化状況のチェック | | |
| | ガスボンベの腐食や劣化の点検 | | 作業時 |
| | 作業内容に応じたガスバナーの炎の調整 | | |
| 一般廃棄物排出量の削減 | 分別の徹底 | 日々 | |
| | コピー用紙裏面の活用 | | |
| | ミスプリントの防止 | | |
| | ペーパ―レスのため、社内文書のやり取りは電子化する | | |
| | 使用済封筒の活用 | | |
| | リサイクル業者の活用 | その都度 | |
| グリーン商品の購入 | 事務用品・備品等はなるべくグリーン商品を購入する | 購入時 | |
| | 再生材料を使用する | | 購入時 |
| 建設廃棄物の管理及びリサイクル促進 | マニュフェスト伝票の管理 | | 発生時 |
| | 廃棄物の分別の徹底 | | |
| | 型枠等の使用済建設資材の再利用促進 | | |
| 油脂類や化学物質等の管理 | 危険物及び油脂類の適正な保管管理 | | 日々 |
| 水資源使用量の削減 | 水道設備の損傷及び劣化のチェック | | 日々 |
| 清掃 | 事務所内の清掃 | 日々 | |
| | 倉庫・敷地内の清掃状況 | | 日々 |
| 共通事項 | | | |
| 教育活動 | 年2回の開催を計画しているが、活動結果が著しく悪い場合は、臨時的に招集し再教育を行う | 1月～12月 | |
| 奉仕活動 | 事務所周辺・現場内及び現場周辺の清掃 | 日々 | |
| 緊急時の対応訓練 | 火災・油類及び危険物等の流出、水道管破裂を想定した訓練を行う | 1月～12月 | |
| 環境県連法規等の遵守状況 | 富士グローバルネットワークのＨＰに掲載の環境関係法規チェックリストを参考に当社にあった項目を抽出し日々チェックする | ８月～9月 | |
| 苦情クレーム等の発生状況及び処理状況 | 苦情・クレーム等の発生時おいて、クレーム処理の結果を検討し改善する | 日々 | |
| 委員会の開催 | 年2回の開催を計画しているが、活動結果が著しく悪い場合は、臨時的に招集し再教育を行う。PDSAサイクルの状況確認 | 1月・7月 | |

# 防災訓練・社会貢献活動

＜油流出に伴う処理訓練・消火訓練・水道管破裂訓練＞

＜ボランティア清掃・除草＞

# 保有車両

| 登録番号 | 車両名・車種 | 車体番号 | 型式 | 原動機の型式 | 写　　真 |
|---|---|---|---|---|---|
| 熊400て738 | 2tダンプトラック | NJR85-7022169 | SKG-NJR85AD | 4JJ1 | |
| 熊100す6433 | 4tダンプトラック | FRR90C3S-7003825 | ADG-FRR90C3S | 4HK1 | |
| 熊400ち6376 | キャブオーバ | NHR85-7003179 | BKG-NHR85A | 4JJ1 | |
| 熊400た531 | キャブオーバ | FB70BB-511791 | PA-FB70BB | 4M42 | |
| 熊11ゆ4950 | キャブオーバ<br>6tユニック車 | FSR33K43000293 | KC-FSR33K4 | 6HH1 | |
| 熊400な6939 | 3ｔダンプ | NKR85-7072609 | TPG-NKR85AD | 4JJ1 | |
| 熊000る383 | アスファルトフィニッシャ | SMTA60WDV00000189 | HA60W | 4JJ1 | |
| 熊00ろ926 | コマツ<br>グレーダー | G40A2-1264 | G40A2<br>（GD405） | 6D95L | |
| 熊000さ131 | サカイ<br>ロード・ローラ | RR2-12264 | RR2<br>（R2） | W04D | |
| 熊000さ130 | サカイ<br>タイヤ・ローラ | TTS450438 | TTS4改<br>（T600） | 6BG1 | |
| 熊000さ466 | サカイ<br>タイヤ・ローラ | 1TZ3-51338 | YDN-1TZ3<br>（Tz704） | V3800 | |
| 天草市・3740 | サカイ<br>4tコンバインドローラ | ITW74-31221 | TW504型<br>（TW504） | D1703-DI-K3A | |
| 天草市・322 | サカイ<br>4ｔローラ | TW500W-1 | TW500W-1<br>（TW500） | | |
| | クボタ<br>ミニバックホー | | U-30-6A | | |
| | クボタ<br>ミニバックホー | | U-30-5 | D1703-EDM | |
| | クボタ<br>ミニバックホー | | RX505 | V2203-EDM | |
| 天草市・4498 | フォークリフト | 620066 | FG15C-16 | トヨタKA280 | |
| 熊480そ6453 | スバル・軽トラック | S201J-0001135 | EBD-S201J | KF | |
| 熊480ふ2543 | ダイハツ・軽ダンプ | S510P-0476189 | 3DB-S510P | KF | |

## EA-21全体会議

1月と7月に全体会議を行ない、各議題に沿って話し合った。

■議題（議事録より抜粋）

1. 重機及び車両の使用について
2. AED導入について
3. 熱中症対策について

■決定事項（議事録より抜粋）

1. 1月にタイヤローラを新車購入した
   点検をかかさず些細な異常を見逃さない
   運転使用は細心の注意を払う
2. 現場へ持参し、設置を周知するための看板を掲げる。
   すべての人を対象とし、必要時使用する。
   呼吸の有無が不明時、迷った場合は心肺蘇生とAEDを使用する。
3. 空調服と水冷服を導入したが、暑さが厳しいため、
   水分塩分補給による予防をし、体調不良時は早めに休憩をとる。

## 過去3年間の関係法規等の遵守状況と違反訴訟の有無

環境法規規制等遵守チェックリストを作成し定期的またはその都度チェックしている。
主なチェック項目は次のとおりである。(チェックリストより抜粋)

1. 廃棄物処理法における産業廃棄物の委託処理
2. リサイクル法における解体工事、土工事、外構工事、型枠工事、木工事
3. 再生資源利用省令による解体工事、土工事、外構工事
4. 高圧ガス保安法における高圧ガスボンベ使用
5. 道路交通法、道路法における道路環境保全
6. フロン排出抑制法における機器の所有者（管理者）によるフロン漏えい点検

上記以外にも、富士経済ネットワークスのHPをチェックし最新のものを導入している。

尚、2022年12月31日現在、点検すべき機材・エアコンの点検が一部できていなかったため来年度から実施する。
また、建設業法、その他の関係法規は遵守しております。

## 代表者による全体評価と見直し結果

エネルギーの使用は不可欠なため、いかに削減するかが重要なポイントであります。天気に左右される業務ですが、日々の小さな注意や意識向上により努力を続けてほしいです。

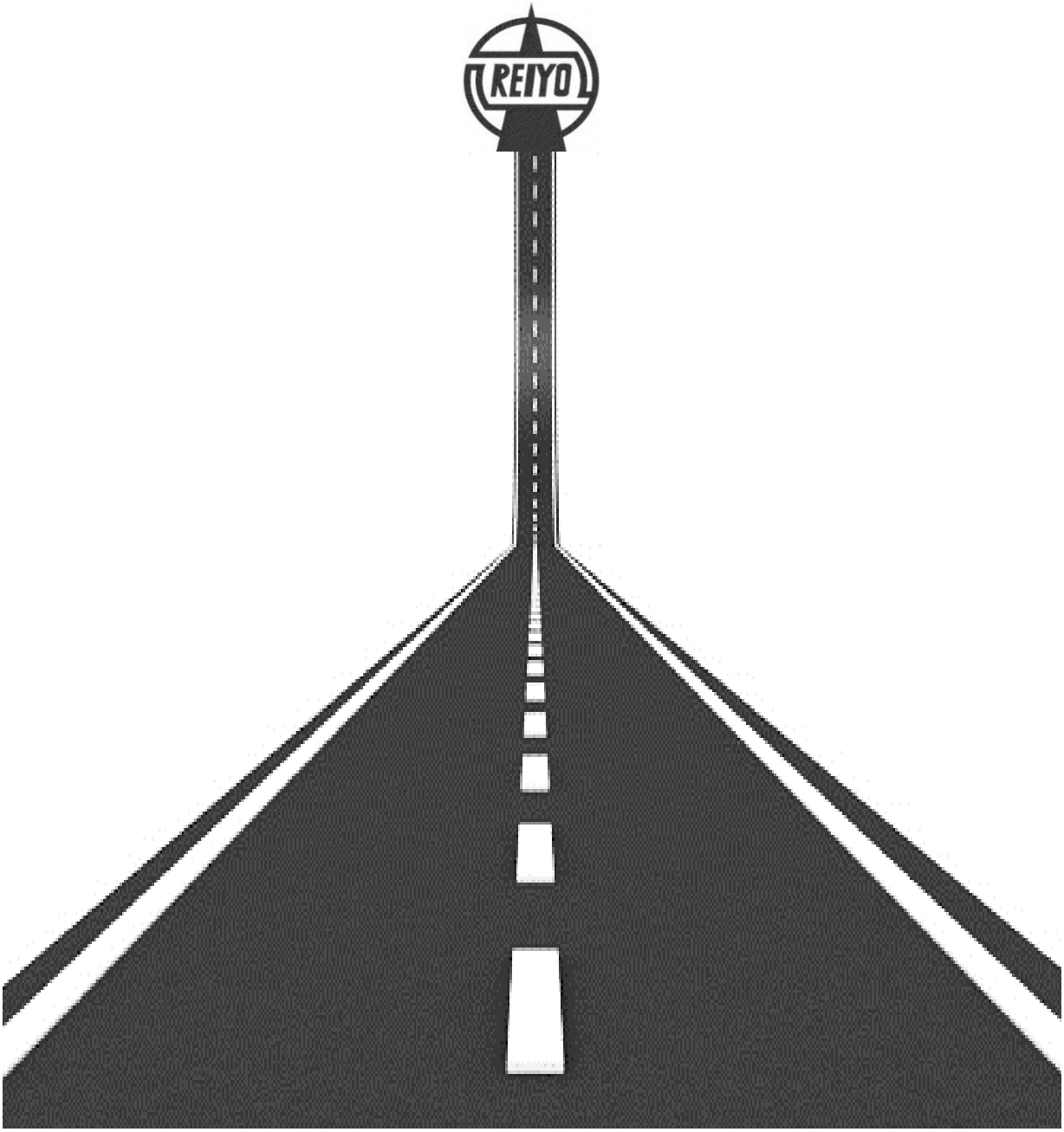
災害や緊急時にも冷静な判断と行動ができるように訓練で心身を鍛えること、今後も環境意識を低下させないよう無理・無駄をなくす事に努めること、安全第一と品質の向上を前提に業務を遂行してくように社員へ話しました。

健康に気を付け、体と心に無理をしない職場づくりを行ない、会社一丸で活動に取り組んでまいります。

2023年9月1日

苓陽工業株式会社
代表取締役　毛利尚之

# もっと　ずっと　その先へ




熊本県天草市本渡町本渡4475-1
苓陽工業株式会社
発行　2023年9月